

新型コロナウイルスワクチン接種  
集団接種シミュレーション  
報 告 書

令和3年3月29日

留 萌 市



# 目 次

1	はじめに	1
2	目的	1
3	接種会場の運営方針	2
	(1) コーナー設置	2
	(2) 具体的な業務内容	3
	(3) 感染防御対策	8
	(4) 会場レイアウト及び人員の配置	9
4	非医療機関環境を想定したシミュレーションの結果	14
	(1) 日時	14
	(2) 場所	14
	(3) 従事者	14
	(4) 実施内容	15
5	検証	19
	(1) 会場外受付	19
	(2) 予診・診察待機場所	20
	(3) 予診・診察室	21
	(4) 接種待機場所・接種室	22
	(5) 接種済証交付場所	23
	(6) 経過観察場所・救護室	24
	(7) ワクチンの希釈、管理	25
	(8) 会場のレイアウト	25
6	今後の接種体制の検討	26
	(1) 課題	26
	(2) 今後の取組	26
7	今後に向けて	27
8	アナフィラキシー発生時の対応場面	別紙

## 1 はじめに

---

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン（以下、「新型コロナワクチン」）の接種は、予防接種法に特例を設け、国の指示のもと、都道府県の協力により、市町村において実施することとなり、留萌市においても、新型コロナワクチンの接種開始に向けて準備を進めています。

このたびのワクチン接種については、集団接種を経験した行政職員がいない状況の中で実施体制を検討し、大規模な接種体制を速やかに確保する必要があります。

そのため、新型コロナワクチンを安全かつ可能な限り速やかに接種できるよう、接種会場の開設・運営に関するシミュレーションを実施しました。

本報告書では、シミュレーションの結果と接種会場の運営に係る今後の方向性について報告します。

## 2 目的

---

新型コロナワクチンの接種について、希望する市民に滞りなく予防接種を実施できるよう、接種会場の開設・運営に関するシミュレーションを実施し、その検証結果を情報共有することにより、今後のワクチン接種の円滑な実施に資することを目的とします。

今回は、保健福祉センターは一とふる内に集団接種会場を開設することを想定したシミュレーションを行い、実現性の高い接種運営体制の構築を目指すこととしました。

### 3 接種会場の運営方針

#### (1) コーナー設置

新型コロナウイルスワクチンの接種の円滑かつ確実な実施や、3密回避などの感染予防対策の必要性を踏まえて、会場内に以下のコーナーを設置し、担当者を配置することとしました。

ア	会場外受付	会場係員A 会場係員B
イ	予診・診察待機場所	看護師A 会場係員C
ウ	予診・診察室	医師
エ	接種待機場所	会場係員D
オ	接種室	看護師B 看護師C
カ	接種済証交付場所	会場係員E 会場係員F
キ	経過観察場所	保健師A 保健師B
ク	相談コーナー	保健師C
ケ	事務所待機	事務所A 事務所B
コ	救護室	医師 看護師B 看護師C 保健師B
サ	ワクチン希釈	看護師A
シ	へき地送迎	留萌市社会福祉協議会
ス	救急搬送	留萌消防組合

## (2) 具体的な業務内容

### ア 会場外受付

#### 〔会場係員A〕

①被接種者に氏名を確認し、身分証明の提示を求め、本人確認を行う。同時にピンク色封筒を受け取り、会場係員Bに渡す。

※ マスク未着の場合は、無償で配付する。

※ 身分証明忘れの場合は、被接種者に氏名、生年月日、住所を聞き、名簿と照合して正しければ可とする。

②被接種者を非接触型体温計付手指消毒ディスペンサー前に案内し、荷物はカゴに置くよう伝え、検温と手指消毒を行い、会場係員Bに体温を伝える。

※ 1 同伴者にも体温測定、消毒を実施する。

※ 2 車いすの方は非接触型体温計で検温する。

※ 3 アルコール消毒ができない方には、グローブを配布し、着用を促す。

#### 【分岐②-1 体温37.5度未満】

③会場係員Bの前に案内する。

#### 【分岐②-2 体温37.5度以上】

③非接触型体温計で再度検温し、37.5度以上の場合は接触型体温計を渡して再度検温するよう説明してから、検温室に案内する。

④会場係員Bに携帯電話で事務所Aに対応を依頼するよう指示する。

※ 事務所Aは検温結果を確認し、37.5度以上の場合は帰宅セット（再予約の案内、予診票（空）の2点）を一つ取るよう説明し、周辺に被接種者がいないタイミングを見計らって、エレベーター経由で正面玄関から帰宅してもらう。

#### 〔会場係員B〕

①会場係員Aからピンク色封筒の書類（接種券、予診票）を受け取る。

#### 【分岐①-1 予診票忘れの対応】

②予診票（空）を使用する。

#### 【分岐①-2 接種券忘れの対応】

②携帯電話で事務所Aに被接種者の情報を伝えて、再発行を依頼する。

※ 事務所Aは、再発行した接種券を会場係員Bに届ける。

- ③バインダーに関係書類を予診票、接種券、封筒の順にセットして、予診票に体温を記入する。予診票2回目はピンク色封筒に入れたままにする。
- ④会場内でアナフィラキシー・チェックシートを確認するよう説明し、被接種者にバインダーを渡して、会場内に案内する。

## イ 予診・診察待機場所

### 〔看護師A〕

- ①座席番号順に予診票の記入漏れ部分を確認する。
- ②確認後、アレルギーによる副反応の可能性が高い方は、ネームプレート（赤）、それ以外はネームプレート（黒）を渡して、首にかけてもらう。同時に予診票（左上）にネームプレート番号を記載する。
- ③ホワイトボードにネームプレート番号を黒と赤に色分けて記入する。  
※ 被接種者1人の確認が終わるごとに記入する。

### 〔会場係員C〕

- ①医師からの合図（チャイム）を受けて、ホワイトボードに記載された番号の方を呼び、氏名を確認し、受付名簿にネームプレート番号を記入した後、予診・診察室へ案内する。  
※ 呼び出す順番は、ネームプレート（黒）を優先する。

## ウ 予診・診察室

### 〔医師〕

- ①予診等を行う。
- ②予診後、接種に同意した被接種者の予診票の医師記入欄に署名する。
- ③被接種者の予診票に経過観察時間（15or30）の付箋、接種を行わないと判断した場合は「×」の付箋を貼付し、被接種者にバインダーを渡して床の赤色の線のとおり進み、外の会場係員Dに声をかけるよう伝える。
- ④会場係員Cに、チャイムでOKの合図をする。

## エ 接種待機場所

### 〔会場係員D〕

- ①予診を終えた被接種者の予診票を確認し、所定の位置に案内する。

【分岐①－1 接種できる方】

- ②「ワクチン接種室から声がかかるまで、こちらでお待ち下さい」と接種待機場所へ案内する。

【分岐①－2 接種できない方】

- ②予診票に「×」の付箋が貼付されていたら、「こちらで手続きをお願いします」と接種済証交付場所に案内する。  
③手続きが終了した方を出口まで案内する。

【分岐③－1 接種した方】

- ④出口で待機している会場係員Aに経過観察場所への案内を依頼する。  
※ 会場係員Aが出口のベルトを開放し、会場係員Dが閉鎖する。

【分岐③－2 接種していない方】

- ④出口に案内し終了。  
※ 会場係員Dが出口のベルトを開放・閉鎖する。

オ 接種室

〔看護師B、看護師C〕

- ①被接種者の氏名・予診票を確認の上、ワクチンを接種する。  
②接種後、被接種者の体調を確認する。

【分岐②－1 体調良好】

- ③接種済証交付場所へ案内する。

【分岐②－2 体調不良】

- ③会場係員Dに医師を呼びに行くよう指示する。

カ 接種済証交付場所

〔会場係員E、会場係員F〕

- ①被接種者にワクチンを接種したか確認する。

【分岐①－1 接種した方】

- ②被接種者から予診票と接種券を挟んだバインダーを預かる。  
③被接種者名を確認し、受付名簿にネームプレートの番号を記入する。  
④予診票を確認し、黄色の付箋に書いてある数字（15 or 30）にタイマーをセットし、スタートボタンを押す。

<予診票の記入>

- ⑤予診票にロットシール（1枚目）を貼り付ける。

- ⑥接種量にボールペンで「0.3ml」と記入する。
- ⑦実施場所に「留萌市保健福祉センターはーとふる」、医師名に担当医師のスタンプを押す。
- ⑧医療機関等確認コードにボールペンで「201 002 9900 (10桁)」と記入する。
- ⑨接種年月日をボールペンで記入する。
- ⑩接種券から「券種2 ワクチン接種 1回目」(左1段目のシール)を剥がし、予診票右上に貼り付ける。

#### <接種券の記入>

- ⑪接種券右1段目にある予防接種済証1回目のメーカー/Lot No.欄にロットシール(2枚目)を貼り付ける。
- ⑫接種年月日をボールペンで記入する。
- ⑬接種場所に「留萌市保健福祉センターはーとふる」のスタンプを押す。

#### <市で預かるものの取り扱い>

- ⑭基礎疾患のチェックシートがあった場合は、予診票の裏にホチキス止めする。
- ⑮必要事項を記入した予診票を保管箱に裏返して入れる。

#### <被接種者へ渡すものの取り扱い>

- ⑯2回目の接種でも使用するため破棄しないよう伝え、ピンク封筒に接種券を入れて手渡す。
- ⑰タイマーをネームプレートのストラップにクリップでつける。
- ⑱出口へ案内する

※ バインダーや筆記用具は消毒し、会場外受付の会場係員Bに渡す。

#### 【分岐①-2 接種しなかった方】

- ⑲接種ができなかった人の予診票に接種券(予診のみ)を貼付し、保管箱に裏返して入れる。
- ⑳接種券、未記入の予診票、再予約の案内を本人に渡し、帰宅するよう案内する。

## キ 経過観察場所

### 〔保健師A〕

- ①エレベーター下で待機し、被接種者の名前を聞き、名簿にネームプレートの番号、待機時間、終了時刻を記入して、待機場所に案内する。

※ タイマーをしていない方には、名前を確認し、名簿にネームプレートの番号を記入の上、ネームプレートを回収し、随時帰宅してもらう。

②インカムで、保健師Bに待機時間が終了した方を伝える。

#### 〔保健師B〕

①被接種者を席に案内し、体調不良の時はその場で挙手するよう説明する。

#### 【分岐①－1 体調不良なし】

②待機時間を終了した方に体調確認をし、問題なければ帰宅してもらう。

※ もう少し様子をみたいと申し出てきた場合は、それに応じる。

#### 【分岐①－2 体調不良の発生時】

②体調不良の方を確認したら、インターホンで事務所Bに知らせる。

※ 事務所Bは待機場所に駆けつけて、保健師Bの指示に従う。

※ 副反応でアナフィラキシー疑いのときは、別紙「アナフィラキシー発生時の対応場面」により行動する。

### ク 相談コーナー

#### 〔保健師C〕

①経過観察中に被接種者のワクチン接種にかかる相談などに対応する。

※ 基本は事務所で待機し、相談希望があった場合は保健師Bがチャイム1回で呼び出す。

※ 相談席が空かないときは、保健師Bがコールセンターへの相談を案内する。

### ケ 救護室

#### 〔医師、看護師B、看護師C、保健師B〕

①副反応でアナフィラキシー疑いのときは、別紙「アナフィラキシー発生時の対応場面」により行動する。

### コ ワクチン希釈（ファイザー社製ワクチン）

#### 〔看護師A〕

①事前に1日の予定人数分バイアルを準備する。

②ワクチンを規定量の生理食塩水で希釈し、希釈した日時をバイアルのラベルに記載する。

③必要量をシリンジに充填して、接種室へ運ぶ。

### (3) 感染防御対策

接種会場を担当する係員は、不織布マスクを装着し、グローブは装着せずに対応する。もし、被接種者がマスクを外して、目や鼻に触れる、咳をするなどの様子を確認した場合は、机や椅子を消毒する。また、定期的に会場内の換気を行う。

#### ア 会場外受付

- ・発熱者を場内に入れないため、被接種者の体温を確認し、具体が悪そうな場合には声をかける。
- ・飛沫感染防止のため、被接種者のマスク着用を確認し、未着用の場合は着用するようお願いする。なお、マスクを忘れた方には無償で配布する。
- ・会場内での接触感染防止のため、手指消毒をお願いする。
- ・被接種者と接触した場合は、その都度、手指を消毒する。

#### イ 予診・診察待機場所

- ・被接種者が持っている予診票等に触れた場合は、対応が終わった段階で手指を消毒する。

#### ウ 予診・診察室

- ・医師は、不織布マスク、フェイスシールド、白衣などを着用する。
- ・被接種者の対応後は、器具や手指を毎回消毒する。

#### エ 接種待機場所

- ・被接種者と接触した場合は、その都度、手指を消毒する。

#### オ 接種室

- ・看護師は、不織布マスク、フェイスシールド、グローブ等を着用する。
- ・被接種者の対応後は、その都度、手指を消毒する。

#### カ 接種済証交付

- ・被接種者の対応後は、その都度、手指を消毒する。
- ・バインダーや筆記用具を回収後、消毒する。

#### キ 相談コーナー

- ・テーブルに卓上の飛沫対策パーティションを設置する。
- ・被接種者の対応後は、その都度、手指を消毒する。

#### ク 経過観察場所

- ・被接種者と接触した場合は、その都度、手指を消毒する。

#### ケ 救護室

- ・不織布マスクを着用する。
- ・医師と看護師は、処置時にガウンを着用、グローブを装着する。

#### コ ワクチン希釈

- ・不織布マスクを着用し、グローブを装着する。

### (4) 会場レイアウト及び人員の配置

#### ア は一とふる会場での集団接種における会場設営

- ・会場レイアウト及び人員配置図については、P 17～18に示すとおり。

#### イ 会場に必要な物品

- ・会場設営及び運営に必要な物品は、次のとおり。

#### ◆会場外受付

No	内容	備考
1	非接触型体温計付手指消毒 ディスペンサー	
2	接触型体温計	1の故障時対応
3	非接触型体温計	
4	不織布マスク	
5	手指消毒液	
6	除菌シート	体温計等消毒用
7	ボールペン	
8	荷物入れるかご	
9	再予約の案内	
10	受付名簿	
11	フェイスシールド、グローブ	
12	嘔吐用ビニール袋・嘔吐処理セット	

◆予診・診察待機場所

No	内容	備考
1	受付名簿	
2	ボールペン	
3	手指消毒液	
4	除菌シート	体温計等消毒用
5	携帯用手指消毒ボトル（小）	
6	座席番号ラミネート	
7	デジタルサイネージ	会場案内用
8	嘔吐用ビニール袋	

◆予診・診察室

No	内容	備考
1	使い捨て舌圧子	受診人数分
2	聴診器	医師が持参
3	ペンライト	医師が持参
4	白衣	医師が持参
5	不織布マスク	
6	グローブ	
7	フェイスシールド	
8	飛沫防止パーティション（卓上）	
9	荷物かご	被接種者用
10	ボールペン	医師サイン用
11	付箋	待機時間 (15、30、×)
12	手指消毒液	
13	除菌シート	聴診器等消毒用
14	感染性廃棄物容器	
15	チャイム	

## ◆接種室

No	内容	備考
1	ワクチン一式	5本1トレイ
2	消毒用アルコール綿	接種部位消毒用
3	感染性廃棄物容器・針捨て容器	予備も準備
4	止血用絆創膏	被接種者用 受診人数分
5	荷物かご	被接種者用
6	手指消毒液	
7	除菌シート	机椅子等消毒用
8	不織布マスク	
9	フェイスシールド	
10	グローブ	
11	車いす	
13	血圧計、酸素飽和濃度計	
14	嘔吐用ビニール袋	

## ◆接種済証交付

No	内容	備考
1	ワクチンロット番号シール	
2	医療機関印、医師印	
3	再予約の案内	
4	ボールペン	
5	予診票回収かご	
6	バインダー・ボールペン回収かご	
7	タイマー	
8	ホチキス	
9	ごみ袋	
10	手指消毒液	
11	除菌シート	机椅子等消毒用

◆経過観察場所

N o	内容	備考
1	イス	
2	デジタルサイネージ	予約案内用
3	資料VTRデータ	SDカード
4	手指消毒液	
5	除菌シート	机椅子等消毒用
6	ネーム・タイマー入れかご	
7	車いす	
8	無線機	
9	嘔吐用ビニール袋・嘔吐処理セット	

◆相談コーナー

N o	内容	備考
1	イス	
2	机	
3	飛沫防止パーティション（卓上）	
4	手指消毒液	
5	除菌シート	机椅子等消毒用
6	荷物かご	

◆救護室

N o	内容	備考
1	救急用品	手引きを参照
2	血圧計・酸素飽和濃度計	
3	ステート・ペンライト	
4	ガウン・グローブ フェイスシールド	医師・看護師用
5	点滴台・ワゴン	
6	医療廃棄物容器・針捨て容器	
7	記録用紙	
8	診察台・枕・タオルケット	
9	手指消毒液	
10	除菌シート	机椅子等消毒用
11	携帯用電話	

◆ワクチン希釈室

No	内容	備考
1	ワクチン、接種用針・シリンジ	
2	針／希釈用（21G）	
3	シリンジ／希釈用	
4	生理食塩液→ワクチンと一緒に配送予定	
5	トレイ	充填したワクチン 5本を1トレイ
6	不織布マスク	
7	グローブ	
8	手指消毒液	
9	消毒用アルコール綿	バイアル等消毒用
10	除菌シート	机等消毒用
11	油性マジック	ワクチンのバイアルに溶解日時記入
12	感染性廃棄物容器・針捨て容器	

◆接種待機場所

No	内容	備考
1	手指消毒液	
2	消毒用アルコール綿	イス消毒用

◆その他

No	内容	備考
1	パーティション	
2	机	
3	案内用掲示物	
4	案内サインスタンド	
5	傘用ビニール袋	
6	養生テープ	
7	カラーコーン	
8	延長コード（ドラム）	
9	延長コード（5m）	
10	不織布マスク	

※ 今後上記以外に必要なものがあれば調達し、品名と必要量をマニュアルに追加する。

## 4 非医療機関環境を想定したシミュレーションの結果

### (1) 日時

#### 〔会場スタッフの予行演習〕

令和3年3月12日（金）

午後6時00分から午後9時30分まで

#### 〔シミュレーション〕

令和3年3月17日（水）

午後1時00分から午後4時30分まで

### (2) 場所

保健福祉センターはーとふる

（留萌市五十嵐町1丁目1番10号）

### (3) 従事者

医師	1人（留萌医師会）
看護師	3人（留萌医師会2人、留萌市1人）
保健師	3人（留萌市）
薬剤師	3人（北海道薬剤師会留萌支部）
救急隊員	3人（留萌消防組合）
会場係員	7人（留萌市7人）
見学受付係員	1人（留萌市1人）
へき地バス	1人（留萌市社会福祉協議会）
被接種者	27人（留萌市1人、老人クラブ連合会21人、 高齢者事業団1人、へき地住民ほか4人）

---

計49人

## (4) 実施内容

### ア 会場の設営

・会場内外に、次の案内サインを表示しました。



▲コーナー付近



▲コーナー付近



▲コーナー付近



▲コーナー付近



▲コーナー付近



▲コーナー付近



▲コーナー付近



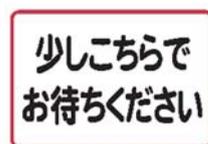
▲コーナー付近



▲接種会場前



▲会場出口付近



▲会場出口付近



▲2階通路上部



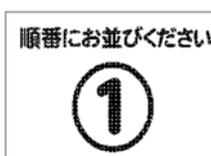
▲1階玄関付近



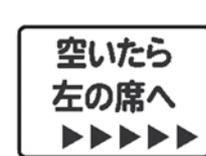
▲正面玄関付近



▲階段付近



▲会場外受付



▲会場外受付



▲接種待機場所



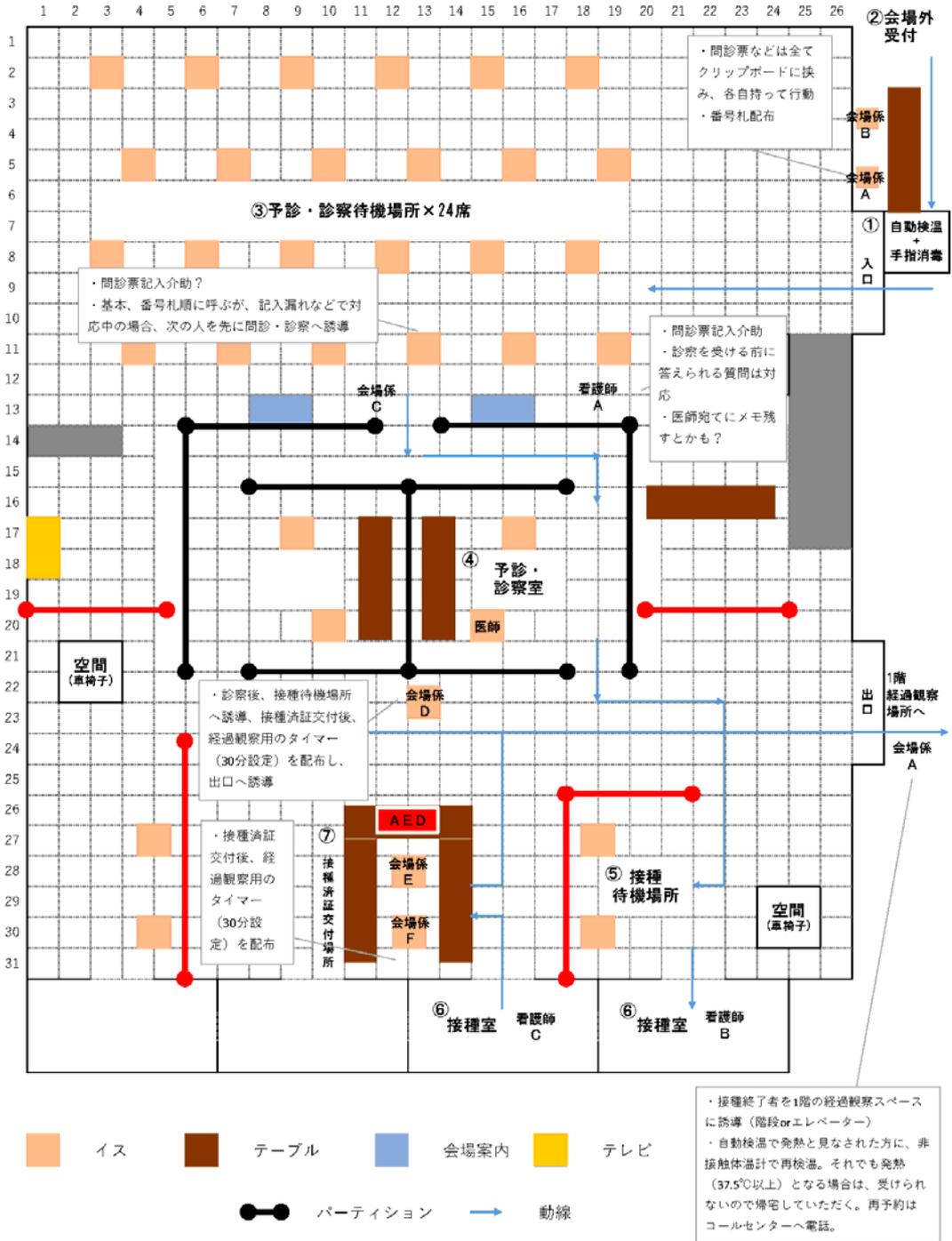
▲接種待機場所



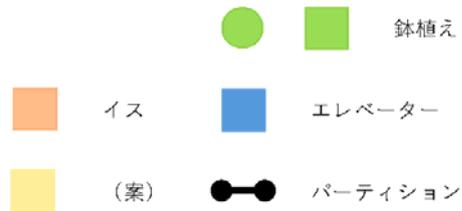
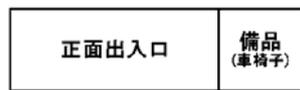
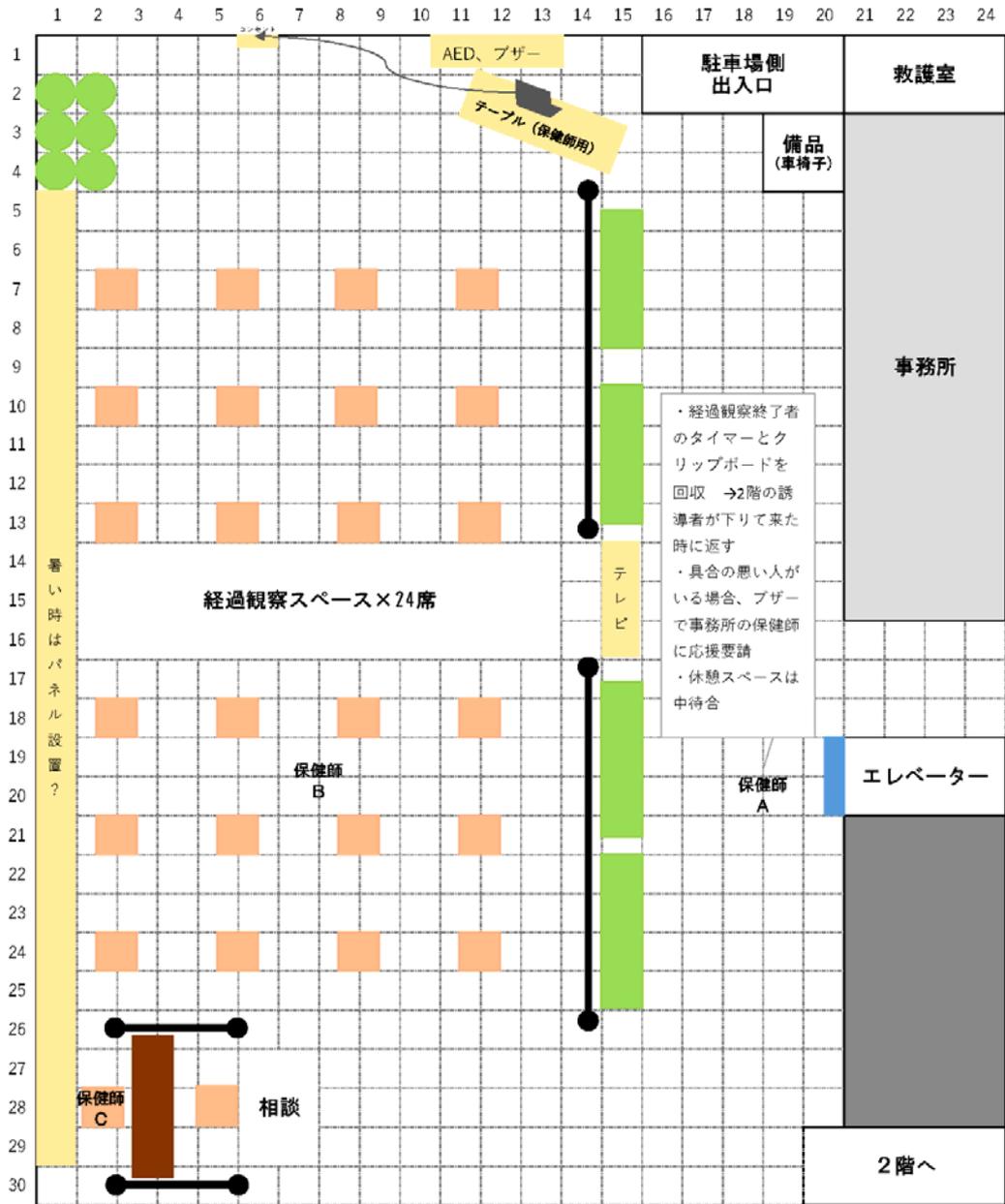
▲予診・診察待機場所

・次の会場図のとおり、会場を設営し、人員を配置しました。

## 2階 集団接種会場



# 1階 経過観察場所



## イ シミュレーションの実施

- ・午後1時から、従事者向けのオリエンテーションを行い、シミュレーションの内容や役割分担、留意事項を確認した後、従事者が各自の必要物品や事務の流れなどを確認しました。
- ・午後2時30分から、送迎により会場に到着した団体21人、へき地住民3人、その他3人の計27人が来場した場合を想定したシミュレーションを実施しました。
- ・午後2時45分から30分後、受付から経過観察場所に到達した人数は7人、60分後に16人（30分間で9人）、90分後に27人（30分間で11人）という結果でした。
- ・また、厚生労働省が指定する留萌市内における無医地区である、幌糠、樽真布、峠下地区の民生委員から3人を紹介いただき、留萌市社会福祉協議会にも協力いただき、送迎の所要時間や手順などを確認し、無医地区からの送迎の最大所要時間は片道1時間程度かかることがわかりました。
- ・さらに、留萌医師会、留萌消防組合、高齢者事業団に協力をいただき、アナフィラキシーが発生したことを想定した救護のシミュレーションを実施し、会場の導線や手順などを確認することができました。

## ウ ワクチンの取り扱いの確認

- ・ワクチンの保管、希釈を担当する看護師と北海道薬剤師会留萌支部の薬剤師3人でディープフリーザーの配置、管理方法、ワクチンの希釈、シリンジへの充填手順を確認しました。
- ・シミュレーションでは、実際のワクチンがなく、ディープフリーザーの電源は入っていない状態で、口頭による確認となりましたが、実際にワクチンが供給されたときに薬剤師の立会いのもと、再度ワクチンの取り扱いを確認する予定です。

## 5 検証

### (1) 会場外受付

#### ア シミュレーションの様子



#### イ 課題

- ・当初、留萌医師会との打ち合わせにおいて、30分間で30人への接種を想定していたことから、午後2時30分の受付開始と同時に被接種者27人を会場外受付に案内しました。
- ・その結果、会場係員A、Bとも、自分の役割に迫られてフロアの案内をする余裕がなかったため、多数の被接種者が待機場所での行動に迷ってしまいました。
- ・待機場所のスペースが狭いこともあり、一度に大人数が来たことで、3密に近い状態になっていました。

#### ウ 今後の取組

- ・高齢者への接種は、予約枠を30分毎に10～13人で設定し、120分で最大50人の接種を目指すことを目標にして、留萌医師会と接種体制の見直しについて協議します。
- ・会場外受付を1階ロビーに移設することで、多数の被接種者が来場した場合の3密を回避します。
- ・2階の会場には、1回あたり最大2～3人をエレベーターで案内し、会場外受付の混雑を回避します。
- ・検温室に、2度検温する理由や体温計の使用方法についての案内をあらかじめ掲示しておきます。
- ・アルコールにアレルギー等がある方は、ノンアルコール除菌ウェットティッシュなどで手指消毒をしてもらいます。

## (2) 予診・診察待機場所

### ア シミュレーションの様子



### イ 課題

- ・一度に被接種者27人を会場内に入れたため、待機場所が3密に近い状態になっていました。また、後半に受付をした方の待機時間が20～30分と長くなってしまいました。
- ・看護師1人で予診票の記載漏れを確認しましたが、予想以上に記入漏れが多く、全員の確認を終えるまでに時間がかかりました。
- ・予診票の未記入では、特に自署サイン欄の未記入が多く確認されましたが、原因は予診票の文字が小さいことだと思われます。
- ・被接種者が服用している薬の話になったとき、血液がサラサラになる薬といった効能の説明や、お薬手帳などで薬品名を提示されても看護師では対応が難しいことがわかりました。
- ・医師からOKサインがあってから、高齢者が予診・診察室に到着するまでに、1回あたり30秒以上のブランクがありました。個人差はありますが歩行速度がゆっくりであることが原因ですが、安全面を考えると、急がせるのは事故やけがに繋がる恐れがあります。

### ウ 今後の取組

- ・会場外受付から会場内に案内する人数を2～3人とし、会場内の待機者数を最大8人とする事で3密を回避し、待機時間の短縮を図ります。
- ・北海道薬剤師会留萌支部からの申し出で、1日あたり2～3名の薬剤師を派遣していただけることになったため、ワクチンの保管や希釈のほか、薬剤に関する確認などをお願いする予定です。
- ・予診・診察室として準備した2か所のスペースを利用し、左右交互に被接種者を待機させることで、時間の短縮を図ります。
- ・予診票の記入時のために、被接種者用の老眼鏡を用意します。

### (3) 予診・診察室

#### ア シミュレーションの様子



#### イ 課題

- ・今回は、医師1人での予診・診察でしたが、高齢者は基礎疾患をもっている方が多いため、予診票や聞き取りなどをしっかりと行い、接種の判断をする必要がありました。
- ・前の方の予診・診察が終わった後、次の方を呼び込むまでに20～30秒の空き時間がありました。
- ・医師が判断した経過観察の所要時間を付箋で表示してもらった段取りでしたが、事務局サイドの説明が足りず、付箋の種類付け間違いがみられました。

#### ウ 今後の取組

- ・医師が被接種者に丁寧な聞き取りをして接種の判断をすることで、ワクチン接種の安全性を確保します。
- ・医師の待機時間を減らし、予診・診察室の流れをスムーズにするため、被接種者を効果的に案内するための工夫を検討します。

## (4) 接種待機場所・接種室

### ア シミュレーションの様子



### イ 課題

- ・今回は、衣服の脱衣はシミュレーションしていませんでしたが、実際には脱衣に相当の時間を要することが見込まれます。
- ・接種される体勢の案内が無かったため、看護師が口頭で毎回説明する必要がありました。
- ・接種室にどのタイミングで入室すればよいかわからず、被接種者の流れが滞る場面がありました。

### ウ 今後の取組

- ・接種部位は、被接種者が想定するよりも肩に近いことから、事前に服装についての注意事項を案内します。

## (5) 接種済証交付場所

### ア シミュレーションの様子



### イ 課題

- ・シミュレーションでは、それぞれのコーナーが自分の役割や手順などを確認しながら作業を進めていたため、被接種者がゆっくりと流れていましたが、テンポが良くなった場合に交付に関する業務が多いため、被接種者の流れが滞る可能性があります。
- ・被接種者には、事前に接種券、予診票2枚、案内文書を送付する予定ですが、特に予診票は誤記入や紛失などが多く発生する可能性があります。
- ・また、予診票記入に使用したバインダーやボールペンなどを回収後に消毒し、会場外受付に運ばなければなりません。実際にその余裕があるか不明です。

### ウ 今後の取組

- ・被接種者から書類一式を預かり、被接種者を経過観察場所へ案内し、作業が完了した後に、被接種者に書類一式を届けることで、接種済証交付場所に被接種者を溜めません。但し会場係員E・Fのどちらか一人は残ることとします。
- ・被接種者には、接種券、予診票1回目、案内文書、接種の留意事項を送付し、1回目の接種済証交付時に予診票2回目を配付します。
- ・2階の接種会場に、フリーで動けるフロアマネージャーを配置し、バインダーやボールペンなどの運搬も役割とします。

## (6) 経過観察場所・救護室

### ア シミュレーションの様子



### イ 課題

- ・保健師Bが、新しい被接種者の待機場所への案内、経過観察の時間終了者の確認、被接種者からの質問が同時に発生した場面があり、相談場所を担当する予定の保健師Cが、保健師Bのフォローに入りました。
- ・アナフィラキシー疑いの方が発生したときのシミュレーションでは、対象者への体調確認、医師及び看護師への応援要請まではスムーズに行えましたが、車いすへの移乗に時間を要したため、救護室へ移送する前に医師と看護師が到着してしまい、経過観察場所の対象者のところまで駆け寄る場面がありました。
- ・医師から薬剤を置く台や点滴台が必要との指摘がありました。

### ウ 今後の取組

- ・保健師Bのポジションは被接種者への対応が同時に発生する場面が多いため、保健師Cを増員配置し、アナフィラキシー疑いの対応を含め、2人でフォローし合える体制をつくります。
- ・経過観察場所と救護室を2階に移設することで、アナフィラキシー疑いの発生時に医師と看護師がスムーズに対応できるよう工夫します。
- ・薬剤を置く台や点滴台を整備し、集団接種に関わる医師と看護師にアナフィラキシー疑いの発生時の対応や、救護室の薬剤等について事前に説明を行います。

## (7) ワクチンの希釈、管理

### ア シミュレーションの様子



### イ 課題

- ・看護師Aが、ワクチンの希釈とシリンジへの充填を行う予定ですが、安全性を確保する観点から2人体制が望まれます。

### ウ 今後の取組

- ・看護師Aのほかに、北海道薬剤師会留萌支部の薬剤師を配置するなど、安全に対応できるように、人員配置を工夫します。
- ・安全にワクチンを管理するため、ファイザー株式会社が提供しているワクチン管理方法の動画など、既存の教材を周知します。

## (8) 会場のレイアウト

### ア シミュレーションの様子



### イ 課題

- ・接種会場のレイアウトについては、特に問題はありませんでした。

### ウ 今後の取組

- ・副反応時の対応をよりスムーズにするため、2階の会場外受付と1階の経過観察場所を入れ替え、経過観察場所に近い場所に救護室を準備します。

## 6 今後の接種体制の検討

### (1) 課題

保健福祉センターは一とふるに集団接種会場を開設する場合、留萌医師会の医師や看護師、北海道薬剤師会留萌支部の薬剤師などに協力をお願いすることになります。

市民を対象とした接種を開始した以降は、長期にわたる医療従事者の確保とその調整が大きな課題となることが予想されます。

また、保健福祉センターは一とふるでは、1日あたりに接種できる人数にも限りがあるため、集団接種会場のみで接種を完了することは非常に困難であると言わざるを得ません。

特に、高齢者の接種においては、利便性の高い医療機関やかかりつけ医、施設の嘱託医等のもとで接種できる体制を整備するとともに、施設の従事者等も接種できる体制を整備する必要があります。

### (2) 今後の取組

集団接種と並行して、個別接種や巡回接種を実施できる体制を構築することが、ワクチン接種を円滑に進めていくためのカギになります。

一方、ワクチン接種に協力していただく関係機関は、通常の業務に加えてワクチン接種業務も行うことになり、負担が大きくなることから、集団接種会場の規模と個別接種や巡回接種の協力状況のバランスをとりながら、過剰な負担にならない接種体制を構築できるよう、留萌医師会や薬剤師会などの関係機関と慎重に協議を進めていきます。

引き続き、国からのワクチン供給状況を見極めながら、ワクチンの種類に関わらず、集団接種、個別接種、巡回接種を円滑に実施できる体制を構築していくことで、可能な限り多くの市民が速やかに接種できる体制を整備していきます。

## 7 今後に向けて

今回のシミュレーションでは、様々な課題を抽出することができました。

また、会場スタッフや関係者それぞれに多くの気づきがあり、それらを面談や電話での聞き取りで伺うことができました。

まず、集団接種会場の感染予防対策として、3密の回避、ソーシャルディスタンスの確保、検温や手指消毒、換気の実施などの徹底が必要となりますが、留萌市立病院の感染管理認定看護師から多くの助言をいただき、改善点が見えてきました。

次に、新型コロナワクチンは、新たなワクチンであることから、超低温でのワクチン管理の徹底や、安全なワクチンの希釈、シリンジへの充填技術などの習得のほか、被接種者の投薬情報の整理が必要となりますが、北海道薬剤師会留萌支部から薬剤師2～3人を集団接種会場に派遣していただくことになりました。

より多くの市民に接種できる体制を構築するためには、安全性と安心感を確保した上で、集団接種会場での被接種者の待機時間をできる限り短縮する必要がありますが、医師や看護師、会場スタッフなどから聞き取りました多くの意見を参考にしながら接種会場の運営方法を再検討し、実際の接種に向けて集団接種マニュアルを改訂します。

また、今回の検証結果から、希望する市民に速やかに接種を終えることを目標とした留萌市版の実施計画を策定します。

1日あたりの接種回数を増やすことはとても大切なことですが、安全性が疎かにならないよう、接種を進めることが重要となります。市におきましては、関係機関と連携しながら本番に向けてさらなる準備を進め、新型コロナワクチンの接種を実施していきますので、引き続きご協力をお願いいたします。

最後になりますが、シミュレーションを実施するにあたって、多大なご協力をいただきました、留萌医師会、北海道薬剤師会留萌支部をはじめ、幌糠・樽真布・峠下地区の民生委員並びに住民の皆様、留萌市老人クラブ連合会、留萌市高齢者事業団、留萌市社会福祉協議会、北海道など、多くの関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

## 別紙 アナフィラキシー発生時の対応場面

### 【アナフィラキシー患者】

ワクチン接種後経過観察場所に案内され椅子に座っていたが、咽喉に違和感があったため挙手する。会話は可能だが体調がすぐれず立つことができない。

<p>(1階) 保健師 B</p>	<p>① 体調不良を訴える被接種者に駆け寄り          →インターホン2回で事務所に2名ヘルプを要請          →保健師 A にインカムでネームプレート番号を伝え、名前を確認する。          →体調不良者に自力歩行可能か確認し、困難な場合、保健師 C 又は事務員 B に車いすを持ってきてもらう。同時に携帯電話で会場係員 B に体調不良者のネームプレート番号と名前を伝える。</p> <p>② 体調不良者を救護室に運ぶ。</p>
<p>(1階) 保健師 C 事務員 B</p>	<p>① 保健師 B からのインターホンを受け、待機場所に駆けつけ、指示に従う。          ※ 今回は、車いすを用意する。          ※ 事務員 B は、指示がなければ事務所に戻る。</p> <p>② 保健師 C は、保健師 B に代わり、経過観察場所を担当する。</p>
<p>(2階) 会場係員 B</p>	<p>① 保健師 B からの連絡を受け、焦らず体調不良者が発生したことを医師と看護師に伝える。</p> <p>② 接種済証交付から予診票を預かり、医師又は看護師に渡す。</p>
<p>(2階) 医師 看護師 C</p>	<p>① 会場係員 B からの連絡を受け、救護室に向かう。</p> <p>② 医師は診察及び必要に応じて応急処置を行い、救急搬送の要請を保健師 B に指示する。</p> <p>③ 看護師 C はバイタルチェックや症状の観察、医師の診療介助を行う。</p>
<p>(1階) 保健師 B</p>	<p>① 竹内の指示により、留萌消防組合 4 2 - 2 2 1 1 に電話し、119 番通報することを事前連絡する。</p> <p>② 医師の指示により、救急車の手配 (119 番へ電話) をする。</p> <p>③ 医師又は看護師に経過を伝える。</p>
<p>(1階) 救急隊員</p>	<p>① はとふる到着後、速やかに救護室へ向かう。</p> <p>② バイタル測定、患者の観察及び必要な処置を行う。</p> <p>③ 医師又は看護師から時系列での経過及び予診票から患者の既往歴・アレルギーの有無等の情報の報告を受ける。</p> <p>④ 体調不良者を救急車に乗せ、病院に搬送する。          ※ 今回は、救急車に乗せた時点で終了とする。</p>

令和3年3月29日  
新型コロナウイルスワクチン接種  
集団接種シミュレーション  
報告書

発行 留萌市  
編集 留萌市市民健康部保健医療課  
新型コロナウイルスワクチン接種対策室

TEL 0164-49-2558 FAX 0164-49-2822